

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	「元気UPふくおか2008」～学校まると緑花大作戦～調査		
(2) 実施団体名	ジェイアール九州コンサルタンツ㈱(『環境緑化を考える会』事務局)	(3) 対象地域	福岡市(東区・中央区・南区)
(4) 代表団体名	ジェイアール九州コンサルタンツ株式会社	(5) 推薦団体名	福岡市

(6)実施した取組の内容	取組①	調査事業運営本部・緑化基地(情報システム構築)設置・専門家招聘	
	実施主体	ジェイアール九州コンサルタンツ㈱(『環境緑化を考える会』事務局)	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: <ul style="list-style-type: none"> ①-1事業運営本部、緑化基地(4箇所)の設置 ①-2専門家招聘、元気UPサポーターの養成 ①-3講演会、公開報告会の開催 ・実施時期:平成20年10月～平成21年2月 ・実施場所:福岡県福岡市(東区、中央区、南区)の小学校 ・取組の目的:情報システムを構築し、本部と緑花基地という小学校を結び、花壇整備等の効用を図る。また、専門家招聘により、元気ポイントを検討・設定し、評価表を準備作成するとともに、元気UPサポーターを養成する。更に、公開で説明会・講演会・報告会を開催することにより、本調査事業の効用等を整理・検討し、次年度に向けた継続への検討を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容: ①-1事業運営本部、緑化基地の設置 ①-2専門家招聘、元気UPサポーターの養成 ①-3講演会、公開報告会の開催 ・実施時期:平成20年10月～平成21年2月 ・実施場所:福岡県福岡市(東区、中央区、南区)の小学校及び福岡市人権啓発センター ・取組の結果:①-1 情報システム構築、ホームページ作成と同時にWebサイト・ブログを作成。本部及び緑花基地を設置し、ネットワークシステムを構築とした。 ①-2 当初はサポーター養成のみを実施予定→小学校花壇整備の指導者不足が問題となり、急遽人材育成塾も開催した。○人材育成塾「元気UPサポーター入門塾」の開催(計3回約100名参加) ①-2,3 H20年9月26日:公開説明会開催。H20年11月27日:推進フォーラム開催。H21年2月4日:公開報告会開催。 各分野の専門家から事業の必要性を一般市民に提示できた。また、九州でも広域的に実施される道守との連携の可能性、緑とまちづくりの関係、園芸の楽しみ等々専門家の貴重な意見交換が出来た。更に公開報告会では、市民80名を前に市長とJR九州社長の緑花対談を行い、続いて本事業の成果を報告した。以上のとおり、身近な緑花整備でどれだけ地域が明るくなるかを提案実感してもらえ、地域まちづくりのコアである小学校区を核とする元気再生の重要性も確認した。
取組②	社会実験1「学校まると緑花」モデル校緑化整備3校 実施管理指導		
実施主体	ジェイアール九州コンサルタンツ㈱(『環境緑化を考える会』事務局)		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:花壇整備、校庭・屋上・壁面等の緑花(一部) ・実施時期:平成20年11月～平成21年2月 ・実施場所:福岡県福岡市(東区・中央区・南区)の小学校3校 ・取組の目的: <ul style="list-style-type: none"> ①モデルとなる小学校を選定し、花壇整備、校庭の芝生化、屋上緑化、壁面緑化を検討実践する。 ②本会会員には造園業等専門家も多数いることから安心して、安全な緑花整備を期待できる。 今回は10月以降の秋・冬期の緑化による景観向上の調査とし、夏季(夏休み)は次年度に予定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:フラワーアップ実施モデル校3校での花壇整備事業 ・実施時期:平成20年11月～12月 ・実施場所:福岡市内3小学校(東区千早小・中央区大名小・南区塩原小) ・取組の結果:外向き花壇や学校のアプローチ花壇を児童が整備することで、土のぬもりや植物の生命の大切さを体験した。 ①千早小では4,5年生児童180名が参加 除草・植栽を一緒に汗を流す。 ②大名小では10月2日に1年生から6年生までの縦割り6班100名が参加した植栽作業は地域の人々に関心を与えた。 ③塩原小では10月9日と30日に児童「花ボラ」作業があり、花ボラ34名の児童に園芸家柳生真吾氏が特別参加して夢の花フリージアを300球植え込んだが、父兄を巻き込んだ楽しく意義ある植栽作業となった。 現在も引き続き花壇の維持管理指導を継続している。緑花作業は見るよりも実際に土にさわって、花に触ってこそ楽しくなり、元気になることを全員が痛感し、即、実作業に参加できる事を希望する者が多かった。 	

(6)実施した取組の内容	取組③	社会実験2「緑花カフェ」の開催・5校(市民100名による現地ポイント調査)	
	実施主体	ジェイアール九州コンサルタンツ㈱(『環境緑化を考える会』事務局)	
	実施内容、実施結果	<p>当初提案により予定していた計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:緑花カフェの実施 ・実施時期:平成21年1月 ・実施場所:福岡市花壇整備実施モデル3校と非実施2校 ・取組の目的:「緑花」モデル整備後の3校と未整備校2校の現地元気ポイント調査を行い、評価表(アンケート表)を収集することにより、一般市民100名による現地調査で市民の声・思いなどを評価の数値化で検証する。民間レベルでの「学校まると緑花」・校区緑化基地の有無・効用を元気ポイントで評価する。 	<p>実際の取組内容及びその結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:緑花カフェの実施 ・実施時期:平成20年11月～12月 ・実施場所:福岡市内(東区・博多区・中央区・南区)小学校5校 ・取組の結果:12月9日緑化カフェを開催し、花壇整備小学校3校、未整備校2校を約5時間かけて視察研修。当初100名(バス2台)の予定であったが、人材育成「元気UPサポーター入門塾」3回開催が追加実施となったので、バス1台(50名)の募集に変更した。各種アンケート(回収32人)では「ニコチャンマーク」による評価を実施したが、80%の方々が「自分たちの過ごした自然環境を取り戻したい」「将来の子ども達のために自然を残したい」と強く思われていることが確認できた。次回は具体的な解決方法を提案し実践しなければならない。
(7)実施体制	平成20年度取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境緑化を考える会(主担当:①②③) ・千早小、大名小、塩原小(主担当:①②) ・緑化・景観専門家(主担当:①③) ・一般市民(取組③:元気UPサポーター、緑花モデル校の評価など) ・ジェイアール九州コンサルタンツ株式会社(全体サポート、アドバイス) 		<ul style="list-style-type: none"> ・取組①-1運営本部と、情報・活動拠点の各緑花基地(小学校)の連携が図られたことで、活動の面的な広がりが見られた。 ・取組①-2緑化や景観の専門家を招聘し、一般市民を中心とした小学校での緑花活動のサポーター(協力者)を養成することができた。しかし、活動の中で、小学校の先生だけでは緑花活動の指導者(専門家)の不足が問題となったことから、一般市民を対象とした「人材育成塾」を開催した。このことで、新たな先生(担い手、指導者)の種を見出し、活動初期の育てができた。 ・取組①-3一般公開による講演会、報告会を開催することで、当該活動の有効性、必要性を広く周知することができ、広域的に新たなサポーターが生まれたことで、来年以降の活動の広がりが期待できる。 ・取組②環境緑化を考える会は、地域住民・企業が一体となって取り組んでおり、会員企業の専門知識・専門技術を提供することで、本事業の円滑な運営に寄与できた。 ・取組③公開説明会等の際に、評価者を一般公募したことで、緑花活動に興味のある方、実践してみたい方を引き込むことができた。このことで、実践に向けての問題点、課題などがアンケートからも浮き彫りになり、生の声を収集できた。また、次年度以降の活動の広がりに期待できる。
(8)取組により得られた成果	○成果1→	学校まると緑花の試行による地域環境の向上	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		学校まると緑花の事例なし	秋・冬期まると緑花の試行3校と地域環境向上の把握
		H20(実際に得られた成果)	
	<p>○秋・冬期まると緑花:3校で試行(地域環境向上の把握(アンケート実施))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来細々と、先生方の努力だけで管理していた小学校の花壇に手を加えることにより、作業に関与した児童・先生方はもとより地域の住民が一体感をもって参加できる環境を作ることが出来た。 ・新興住宅地では地元の住民相互の交流がなかったが、小学校児童を通じて共通の話題に基づく会話が発生し、不活発な自治会に動きが生じて来た。 ・「ポイ捨てゴミがなくなった」「花殻摘みをしてくれる人がでてきた」というのが先生方から報告されてきたが、更に児童からは「皆が花を好きになれば、世界はもっと平和になる」との声が聞こえてきたことは、素晴らしい結果である。 		

(8)取組により得られた成果	○成果2→ 緑花カフェの試行と地域環境向上の評価の試行	
	H19	H20(当初予定していた目標)
	緑花カフェ・元気ポイント評価の実例なし	秋・冬期緑花カフェの試行5校と元気ポイント評価の試行
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	H20(実際に得られた成果)	
	<p>○秋冬期に緑花カフェ、元気ポイント評価を5校で試行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化カフェの実施方法、元気ポイントの考え方と表現方法など専門家のアドバイスを受けながら、自分たちの手作りアンケートを作り、実行・集計できた。 ・社会実験1(花壇整備)の段階で問題が出てきた「専門家人材不足」の初期解消策として「元気UPサポーター養成・入門塾」を開催し、「地区の元気再生の核は小学校」「楽しい花壇作り」「押し花作り」などの話題を中心とした講座を実施したが、塾長に柳生真吾氏の就任快諾を得るなど、述べ82名の市民参加を喜ぶとともに「専門家」養成を今後も続けなければならない。 ・夏期における花壇の景観、屋上・壁面・校庭の緑化についての検討は次回の重要な課題であるが、そのためにも「サポーター養成塾」の充実を急がねばならない。 	
(10)平成21年度以降の活動の見込み	<p>・H20年度は緑花事業の荒田おこし(基盤整備)の年と位置付け、アンケート等により活動の有効性などについて、評価・集計できたので、今後は本事業を安定的に継続することを検討実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市内には146校区あり、今回の実験調査はたった3校という極めて少数にすぎないので、調査対象数の拡大を図り、評価の安定確認と検討課題の把握及び解決策策定を作らねばならない。 ・エリア拡大には更なる人材確保が必須であるので、サポーター塾も拡大させることが必要となる(講師の数の確保) ・今後は更に検討を重ね参加学校(校区)を増やす努力を行い、地域の元気再生に学校(校区)の果たす役割をもっと明確にし、市民に訴えることが必要であると考えているので、今回の結果を踏まえ、調査項目の見直しも行き、更なる調査分析等を実行しなければならない。 ・先にも述べたが「専門家」の不足を補う「サポーター養成塾」の開催が急務である。 	
	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
	1. 実施校の夏期緑花社会実験(H21年度) ・夏期元気ポイントの現地調査 ・緑視率UPによる景観の向上 ・地球温暖化防止としてのCO2削減率調査	1. 実施校の夏期緑花社会実験(H21年7月～H21年9月) ・夏期元気UPポイントの現地調査(夏期緑花カフェ) ・地球温暖化防止としてのCO2削減率調査 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額830万円)]
	2. 専門家招聘(H21年度) ・緑花フォーラム開催 ・夏期元気ポイント調整と通年評価分析	2. 専門家招聘(H21年7月～H21年12月) ・緑花とまちづくりに関するフォーラム ・元気UPポイント調整と通年市民レベルの評価分析 笑顔の評価と元気度評価の学術的な解析でソフト作成 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額320万円)]
	3. 継続・発展実施に向けた事業化案検討(H21年度～H22年度) ・専門家招聘による講演会 ・事業化案検討	3. 継続・実施に向けた元気再生事業化検討(H21年11月～H22年2月) ・専門家及び先駆者招聘による講演会・検討会 ・継続に向けたフラワーアップ事業(地方の元気再生)ソフト開発(案)の策定 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額380万円)]
	4. 講演会、地域へ拡大展開するための「元気UP九州」推進フォーラム(仮称)(H21年10月～H21年11月) ・専門家を招聘しての緑花推進地域展開への講演会 ・フラワーアップ(元気再生事業)プログラム案の公開説明会 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額380万円)]	
	5. 緑花基地の拡充・元気UPサポーター育成(H21年7月～H22年2月) ・緑花Webシステムの充実と拡大 ・元気UPサポーター養成塾の各校区の市民対象の継続的開催(校区毎のフラワーアップ推進ワークショップ) [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額490万円)]	

元気UPふくおか2008～学校まるごと緑花大作戦～ (福岡市・中央区、南区、東区) 『環境緑化を考える会』元気UPプロジェクト

◆主な実施取組の内容◆

実施取組：1. システム構築 (内容)

実施団体：『環境緑化を考える会』

- ①「一般公開説明会」 H20年9月26日
- ②「元気UPふくおか2008」フォーラム H20年11月27日
- ③元気UPサポーター入門塾の開催(3回) H20年11～12月
- ④「一般公開報告会」 H21年2月4日
- ⑤ホームページの制作(公式・キッズ)

公開説明会

ホームページの制作(情報発信基地)

フォーラム新聞記事

実施取組：2. 社会実験1. モデル校花壇整備

①3校の花壇整備事業

大名小学校(中央区)千早小学校(東区)塩原小学校(南区)にて、秋・冬場の景観向上とフラワーアップ活動を推進

②教育委員会・関係学校の連絡・協力体制の確立

園芸家の柳生真吾氏招き塩原小児童と花植え

小学生の花壇整備作業

福岡情報誌への掲載

実施取組：3. 社会実験2. 緑花カフェ

①花壇整備未実施校を2校を含む全5校にて、一般住民による、現地アンケート調査を実施。元気ポイントを笑顔の表情で評価し、市民評価表を作成。

1. 大変良かった 2. 良かった 3. まあまあ良かった 4. あまり良くなかった 5. 良くなかった

元気UPポイントによる整備花壇評価

◆取組実施による成果・今後の展開

《取組実施による成果》項目1. 2. 3共通

- ①学校まるごと緑花(フラワーアップ)ソフト成果有
- ②モデル校の景観向上→地域へ元気UP成果有
- ③緑花カフェ・サポーター塾→サポーター18名創出

今後の展開:H21年度はフラワーアップ戦略の充実→ H21年度以降元気UP事業へ

- ①まるごと緑花(フラワーアップ)の夏季社会実験『福岡県内の小学校の拡大(5校)』
→ H21以降:緑花基地の設置(新コモンズ創出)
- ②九州圏内へ啓発事業(リレーフォーラム)→ H21以降:まるごと緑花取組校の地域拡大
- ③元気UPサポーター塾の基盤整備→ H21以降:取組100校へ向けての人材育成